

緑内障治療用縮瞳剤

劇薬

アドソルボカルピン®点眼液1%
アドソルボカルピン®点眼液2%

ADSORBOCARPINE® Ophthalmic Solution 1%・2%

ピロカルピン塩酸塩点眼液

貯法 気密容器、室温保存
使用期限 外箱及びラベルに表示

	アドソルボカルピン点眼液1%	アドソルボカルピン点眼液2%
承認番号	21900AMX01718000	21900AMX01736000
薬価収載	2007年12月	
販売開始	1984年7月	

禁忌（次の患者には投与しないこと）

虹彩炎の患者〔縮瞳により虹彩の癒着を起こす可能性があり、また炎症を悪化させるおそれがある〕

※【組成・性状】

1. 組成

販売名	アドソルボカルピン点眼液1%	アドソルボカルピン点眼液2%
有効成分	ピロカルピン塩酸塩	
分量(1mL中)	10mg	20mg
添加物	ホウ酸、ホウ砂、マクロゴール4000、マクロゴール6000、ポビドン、ヒドロキシエチルセルロース、エデト酸ナトリウム水和物、ポリオキシエチレンポリオキシプロピレングリコール、ベンザルコニウム塩化物	

2. 製剤の性状

色・剤形	無色澄明の無菌水性点眼剤。やや粘性がある。
pH	3.5～5.5
浸透圧比	1% 約1.0、2% 約1.5

【効能・効果】

緑内障、診断または治療を目的とする縮瞳

【用法・用量】

通常、1日3～5回、1回1～2滴宛点眼する。

【使用上の注意】

1. 慎重投与（次の患者には慎重に投与すること）

- 気管支喘息の患者〔気管支収縮作用により喘息発作を強めるおそれがある〕
- 網膜剥離の危険のある患者〔縮瞳により網膜剥離を起こすおそれがある〕

2. 重要な基本的注意

縮瞳（暗黒感）又は調節痙攣が起こるので、本剤投与中の患者には、縮瞳（暗黒感）又は調節痙攣が回復す

るまで自動車の運転等危険を伴う機械の操作に従事させないよう注意すること。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

(1)重大な副作用（頻度不明）

眼類天疱瘡：眼類天疱瘡（結膜充血、角膜上皮障害、乾性角結膜炎、結膜萎縮、睫毛内反、眼瞼眼球癒着等）があらわれることがあるので、異常が認められた場合には投与を中止し、適切な処置を行うこと。

(2)その他の副作用

副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

なお、全身症状があらわれた場合には投与を中止し、アトロピン硫酸塩水和物の投与等適切な処置を講ずること。

	頻度不明
過敏症	眼瞼炎
眼	白内障、結膜充血、痒痒感、刺激感、眼痛、霧視、暗黒感
消化器	下痢、悪心・嘔吐
その他	頭痛、発汗、流涎

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。〔子宮筋の収縮を起こす可能性がある〕

6. 適用上の注意

(1)投与経路：点眼用のみ使用すること。

(2)投与時：1)点眼に際しては原則として患者は仰臥位をとり、患眼を開眼させ、結膜嚢内に点眼し、1～5分間閉眼し、涙嚢部を圧迫させた後開眼する。

2)薬液汚染防止のため、点眼のとき、容器の先端が直接目に触れないように注意するよう指導すること。

7. その他の注意

本剤の使用により、錯乱、記憶障害等の精神症状があらわれたとの報告がある。

【薬物動態】

眼組織内移行性¹⁾

アドソルボカルピン点眼液2%を家兎眼に点眼し、房水中のピロカルピン塩酸塩の動態を調べたところ、良好な眼内移行を示した。

※【薬効薬理】

縮瞳作用²⁾

家兎眼におけるアドソルボカルピン点眼液の縮瞳効果は次の通り。

項目	薬剤名	
	アドソルボカルピン点眼液	
	1%	2%
最高縮瞳発現時間 (分)	40	20
縮瞳持続時間 (時間)	4	6

【有効成分に関する理化学的知見】

一般名：ピロカルピン塩酸塩 Pilocarpine Hydrochloride

化学名：(3*S*, 4*R*)-3-Ethyl-4-(1-methyl-1*H*-imidazol-5-ylmethyl)-4,5-dihydrofuran-2(3*H*)-one monohydrochloride

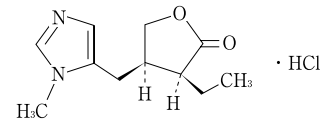
分子式：C₁₁H₁₆N₂O₂ · HCl

分子量：244.72

融点：200~203℃

性状：ピロカルピン塩酸塩は、無色の結晶又は白色の粉末で、においはなく、味はわずかに苦い。酢酸(100)に極めて溶けやすく、水、メタノール又はエタノール(95)に溶けやすく、無水酢酸にやや溶けやすく、ジエチルエーテルにほとんど溶けない。吸湿性である。光によって変化する。

構造式：



【包装】

アドソルボカルピン点眼液1% 5mL×10

アドソルボカルピン点眼液2% 5mL×10

【主要文献及び文献請求先】

〈主要文献〉

- 1) Green, K. and Downs, S.J. : Arch. Ophthal. 93, 1165, Nov, 1975
- 2) (株)日本点眼薬研究所 社内資料(薬効薬理試験)

〈文献請求先〉

主要文献に記載の社内資料につきましても下記にご請求下さい。
(株)日本点眼薬研究所 営業本部学術部学術課
〒457-0038 名古屋市南区桜本町40番地の2
TEL (052) 823-9110 FAX (052) 823-9115

®：登録商標

株式会社 **日本点眼薬研究所**
名古屋市南区西桜町76番地